

SEQUIMINI ME

セ ク イ ミ ニ メ

No.45

WINTER 2013



桃山学院大学チャペル・ニュース

目 次

巻頭言「クリスマスだからこそ」	チャプレン 松平 功	……	1
桃学大チャペル附属聖歌隊で活躍しよう!!		……………	2
先輩からの便り			
～「神からの逃走」に失敗～	第20期生 うちだ 内田 望	……	3
(日本聖公会 司祭 大阪教区 堺聖テモテ教会、聖ルシヤ教会牧師)			
聖書の花園 (28)「月桂樹 — 勝利の栄冠」	金城 盛紀	……	6
(本学元文学部教授・神戸女学院大学名誉教授)			
「SCA 新入生歓迎会」 社会学部 社会福祉学科2回生	花澤 広介	……	8
桃学大 SCA (学生キリスト者会) へのお誘いとお願い		……………	9
<キリスト教センター関連等諸行事> (2013年4月～2013年12月)		……………	10
キリスト教センターからのお知らせ		……………	12

聖書の言葉

「この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

『いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。』」

(新約聖書・新共同訳、ルカによる福音書2:13c～14)

表紙：日本聖公会大阪教区主教座聖堂

川口基督教会 創立140周年記念ステンドグラス「ゲッセマネ」



「クリスマスだからこそ」

チャプレン（大学付牧師） 松平 功

「わたしがあなた方を愛したように、互いに愛し合いなさい。」
（ヨハネによる福音書 13 章 34 節 c）

サンデースクール（日曜日に教会で行われる子どもを対象とした礼拝や聖書勉強会のこと）でクリスマスをお祝いした後、子どもたちに感想文を書いてもらおうと、先生から聞いたメッセージや聖書のお話のことよりも、サンタクロースからもらったプレゼントやお菓子のことばかりを書くそうです（「信徒の友」2012年12月号、日本キリスト教団出版局、pp.22-23）。子どもたちにとって、難しい聖書のお話しなどよりもサンタクロースからプレゼントをもらう方が心に残るのは当たり前のことでしょう。また、大人にとってもクリスマスといえば、トナカイの曳くそりに乗ったサンタクロースが空に舞う姿を思い浮かべたり、キラキラ輝く電飾やキャンドルの灯りに心を奪われたりするものが常でしょう。その心の中にはイエス・キリストや聖書など存在しないのです。人々にとって、クリスマスは幻想的な世界に浸ることができる、美しい冬の世界でしかないのかもしれません。

このようなクリスマスの現実を考えると、それは開発者の努力を知らずにその恩恵を受ける人々と同じようなものだと思ってしまう。世の中にあふれている電化製品やハイテク機器などは、技術者や開発者の努力の結晶ですが、使用する側はそれらの人々がどれほど心血を注いだのかなど気にも留めません。「便利な世の中になった」と口にするだけでしょ。寂しいことなのですが、クリスマスもこれと同様に「何か素敵な世界」と感じるだけなのです。

しかし、クリスマスだからこそ、本当の意味でのイエス・キリストの生涯によって示された神の愛を知っていただきたいと願います。イエス・キリストは2000年前にこの世に降誕し、弱き者を助け、病める人々を介抱し、苦しむ者や悲しむ者と共に悩み、友のいない者の友となり、十字架刑で命を落とすまで人々に神の愛を示していったのです。そのイエスの降誕を祝うのがクリスマスです。そして、サンタクロースというのは、実はこのイエスの生涯に感化を受け、イエスを神の子と信じ、イエスが教えた隣人愛を行いで示していったひとりの男だったのです。サンタクロースの存在はキリスト教のひとつの伝承と考えられているのですが、そのモデルとなったのは4世紀ごろ東ローマ帝国のミュラという、現在のトルコにある小都市で活躍した主教、聖ニコラウスでした。聖ニコラウスは、無実の死刑囚を助け出すなどの善行を行ったという伝説が残されている聖人で、サンタクロースの姿をした大人が子どもたちにプレゼントを配るという現在の伝統は、彼の行った人助けから由来しているといわれています。その人助けとは、聖ニコラウスが貧しい人々に金貨を分け与えたというものです。最も有名な逸話は、ある貧しい家の3人の娘が人買いに売られてしまうことになるのを助けたというものです。聖ニコラウスは、その娘たちの家の煙突から金貨を投げ入れたそうです。そして、その金貨は偶然、暖炉に乾してあった靴下に入りました。結果として、その金貨のおかげで3人の

娘たちは身売りをしなくて済んだといひます。この逸話から、クリスマスイブにサンタクロースが煙突から家に入って来て、靴下の中にプレゼントを入れるという伝承が生まれたそうです。そんなことをすれば、体中がススだらけになって綺麗な赤い衣装は台無しになってしまうのですが……。ちなみに、サンタクロースの赤い衣装は、キリスト教の主教の着る服です。本学の学院長も聖公会(英国教会系)の主教ですので赤い服を着ています。今度キャ

ンパスで見かけたらチェックしてみましょう。

さて、聖ニコラウスだけではなく、その他にも数えきれないほどの人々がイエス・キリストの教えと行いに感化を受けて人生が変えられています。このクリスマスの季節に、単なるクリスマスの荘厳な雰囲気に魅了されるだけではなく、その内側にある本質的なキリスト教の教えに耳を傾けていただければと願ってやみません。メリークリスマス！

桃学大チャペル附属聖歌隊で活躍しよう!!



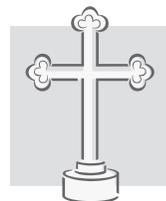
+ 聖歌隊って？

- ◎ 桃学大カラーのガウンを着て、入学式や卒業式で合唱する団体です。
- ◎ 創立記念日やクリスマスなどの学内行事にでも歌を披露します。
- ◎ 学外では福祉施設などで歌ったりすることもあります。

+ 聖歌隊に入ると何か良いことある？

- ◎ チャペルに附属している聖歌隊なので、部費や活動費などを請求されることはありません。
- ◎ 部室はキリスト教センター内の広い部屋なので、教室からも比較的近い。
- ◎ 練習は週に2～3回なので、アルバイトとのかけもちもOK！
- ◎ プロのボイストレーナーから指導を受けるので、メキメキ上達するかも。
- ◎ 部室には、自分専用の個人ロッカーが使えるよ。
- ◎ 聖歌隊や合唱の経験がなくても、クリスチャンでなくても入れます。

詳しくは：11J1110@andrew.ac.jp（代表：横山まで）
ホームページは、桃学大の施設、キリスト教センターから入れます。
<http://www.andrew.ac.jp/ch-choir/index.html>



聖歌隊員大募集!!

先輩からの
便り

「神からの逃走」に失敗

第20期生 **うちだ 内田** のぞむ 望

(日本聖公会 大阪教区 司祭 堺聖テモテ教会、聖ルシヤ教会牧師)



生い立ち

私は、奈良県の五條で生まれました。父親は日本聖公会（桃山学院大学も日本聖公会の学校です）の司祭でした。気がつくと（何歳頃に気がついたかといわれても記憶がありません）私はクリスチャン、キリスト者になっていました。聖公会には幼児洗礼がありまして、自分で信仰告白ができなくても、親の考えや思いによって赤ちゃんの時に洗礼を授けるのであります。私は生後5ヶ月の時でしたので、洗礼式の記憶はもちろんありません。

父は五條の教会から三重県四日市の教会へ、さらに福井の教会に、そして最後は大津の教会の牧師として異動し、私たち家族も引越しを繰り返し、教会の敷地内にある“牧師館”に住んでいました。行く先々の教会で初めてお会いする信徒さんから「あなたは牧師の長男だから、父親のあとを継ぐのですね」と声をかけられてきました。お寺では代々子どもが住職としてあとを継いでいくことは知って

いましたが、そのようなお寺の子どものような感覚で信徒さんから声をかけられ続けてきました。このことは私にすごく不快な気持ちを与えました。もう一つのこと、教会の牧師館に住んでいますとプライバシーがなく、いつも信徒さんから見られているように感じました。さらには、毎日曜日に教会に行き（自分の意志ではなく、父親からの命令）、礼拝のお手伝い（サーバー“侍者”）をしてきました、というよりも、礼拝のお手伝いをさせられていたのであります。

このような理由から、高校3年生のころから「一日も早く牧師館を出たい、絶対に親の元から大学には行きたくない、独りで自由に生活をしたい」という気持ちが強くなり、大阪の桃山学院大学に行くことを決めました。

大学時代

入学した私は、大学から徒歩20分ぐらいの学生寮に入ることができ、あこがれ続けていた独り暮らしが始まりました。「これで日曜日は教会に行かなくても、ゆっくり眠ることもできるし、親からも教会に行きなさいと言われてないし、信徒さんからも何も言われたいし、信徒さんの目を気にしなくてもよい生活が始まる」と気が楽になりました。

ところが、私の部屋の前にいた先輩Yさん（聖公会の信徒の方でした）とお風呂で一緒になり、話をしている内に次の日曜日に教会と一緒にいく約束をしてしまいました。寮から一番近い教会に連れて行ってあげると言うことでした。次の日曜日に電車で金剛にある聖

ルシヤ教会と一緒に出かけ、みんなの前で紹介を受けました。牧師さんからは「次の日曜日からサーバーをしてください。また、青年がたくさん来てるから、一緒に青年会を盛り上げて下さい」と頼まれました。

父の元を離れ、独り暮らしを始め、「これで自由になれた。教会にも行かなくてもよくなった」と思った矢先にまた神さまに捕まってしまったように感じました。

しかし、4年間の大学生活を振り返ってみますと、今度は自分の意志で教会生活を過ごしたようであります。今までは、父親の命令によって教会に行っていましたが、大学生活の間は、寮の友人は日曜日にはゆっくり寝ていましたが、私は教会に行くために一人起きて教会に向かっていました。聖ルシヤ教会の信徒さんからも「お父さんのあとを継いで司祭になったら」と声をかけられましたが、不思議なことですが、あまり不快な感じはしなかったように思い出されます。

父のもとを離れて大学生活をスタートした私でしたが、今、考えれば少しオーバーな表現で言いますと、神さまから逃れようとしたわけです、まさに「神からの逃走」を考えていましたが、それは失敗に終わり、結局は神に捕まり、神のもとから離れられない、そのような自分がいるわけです。聖書の登場人物の中にも神から逃走した人物がいます。

預言者ヨナ

旧約聖書の中にヨナという預言者がいます。短い書物ですから、ぜひ一度お読みください。

「主の言葉がアミタイの子ヨナに臨んだ。『さあ、大いなる都ニネベに行ってこれに呼びかけよ』」（ヨナ書1章1～2節）。この文から、ヨナ書は始まります。これは、ヨナが預言者として召し出されたことを表しています。そして、ヨナに臨んだ神の言葉は「大いなる都ニネベに行ってこれに呼びかけよ」というものでした。神はヨナに、イスラエルの敵国であるアッシリアの中心地ニネベに行くように命じるのです。そしてニネベの人々を、罪の悔い改めに導こうとしていました。つまり、神

はアッシリアを救おうとしているのです。この神の言葉を聴いて、ヨナの心は騒ぎ、遂に彼は神から逃げ出します。

ヨナは、神から逃走しますが、それは、彼が不信仰であったからではありません。ヨナは、神を信じていましたが、神の命令が、自分の考えとは異なっていたために、神から逃走したのです。しかし、神は、逃げ出すヨナに罰を与えることも、彼を見捨てることもしません。その後には、神がヨナを捕まえ、ヨナとの関わりを保ち続けようとする物語が、展開されていきます。

現在の働きと心境

以上のように、私の生い立ちから大学生活までを信仰生活を中心に書いてきました。高校時代から大学時代、そして大学を卒業してからも何度も何度も神からの逃走を考えてきましたが、結局は、神さまに捕まり、現在、日本聖公会の司祭として堺聖テモテ教会と聖ルシヤ教会の牧師として働いています。

使徒パウロは言っています。「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています」（ローマの信徒への手紙8章28節）。

今までの紆余曲折の人生、そしてこれから起こるであろうさまざまな事柄すべては、神を愛する人々にとって、神さまが共に働いて万事が益としてくださいます。神さまがすべての事を益となるようにしてくださるということです。私たちの人生には予定も計画もしない苦しみ・悲しみもたくさんあります。つらい、大変な問題に直面することも多々あります。しかし私が神さまに目を向け、神さまにつながっている時に起こったそれらの事柄は、神さまが意味と目的をもってそれらを与えておられる。大学を卒業して30数年が経ち、時が流れ、「あの事も、この事も、益となった。やっぱり万事益となった」と、今日この頃考えています。

最後に

最後にスイスの医者で作家のマックス・ピカートの『神からの逃走』の最初の所に引用しているアウグスチヌスの言葉で終わりたいと思います。

「神の顔を逃れてどこに行こうとするのか。

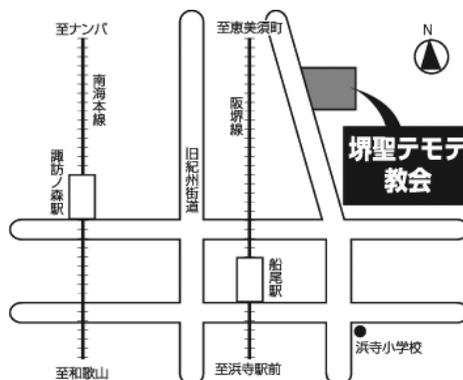
どこに逃れんとするのか。それを逃れんと欲するなら、自己自身へと逃れよ。自己自身から隠れることによってではなく、告白することによって自己自身へと逃れよ。なぜなら、汝は隠れることはできない。だが、告白することができるだけである」。

内田望先輩が務めている二つの教会

- 堺聖テモテ教会 <http://nssk.org/osaka/church/sakai/index.htm>

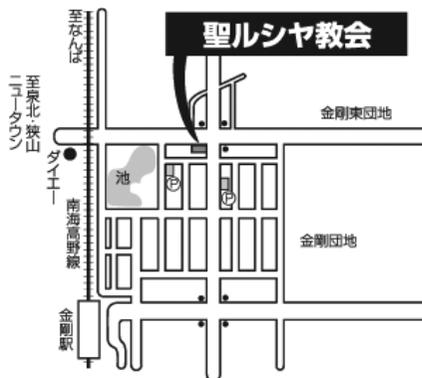
592-8349 堺市西区浜寺諏訪森町東 1-65 Tel: 072-261-2015 Fax: 072-264-1793

E-mail: sakai.osaka@nssk.org



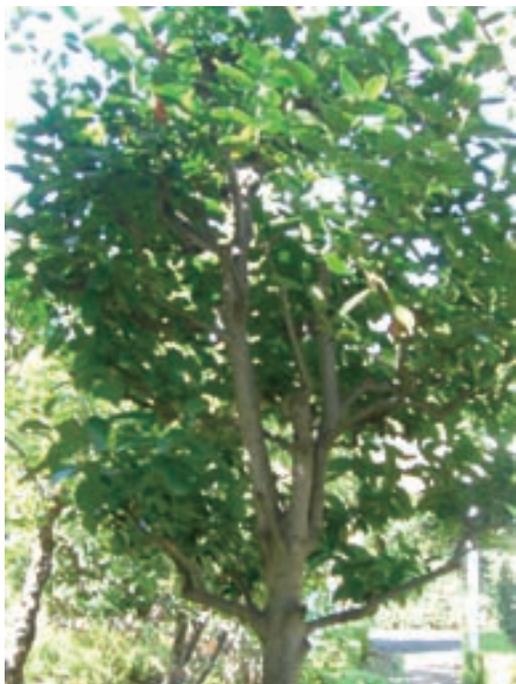
- 聖ルシヤ教会 <http://www.nssk.org/osaka/church/lucia/index.html>

584-0074 富田林市久野喜台 2-15-1 Tel: 0721-28-4934 Fax: 0721-28-4934



月桂樹——勝利の栄冠

きん じょう せい き
 金 城 盛 紀 (本学元文学部教授・神戸女学院大学名誉教授)



月桂樹 (Laurel, Bay, *Laurus nobilis*) はクスノキ科ゲッケイジュ属の常緑小高木。地中海沿岸地方を原産地とし、イスラエルに自生している。雌雄異株。春、淡黄色の小花を咲かせ、実は秋に熟して暗紫色となる。古代ギリシア以来、勝利の栄光、不滅の名声をあらわす。「月桂樹」という植物名は新共同訳聖書にはまったく現れない。しかし、月桂樹の言及のみならず、「樅」や「レバノン杉」などと訳された樹木が「月桂樹」と明記されている聖書訳がいくつもある。日本には1906年に渡来したが、日露戦争の記念樹となった。

「野生の木」は月桂樹か

主に逆らう者が横暴を極め
 野生の木のように勢いよくはびこるのを
 わたしは見た。

(詩篇 37 : 35)

新共同訳で「野生の木」となっている木は「レバノン杉」とする聖書が多い。これは70人訳(ギリシア語訳)が「レバノン杉」としたからであるが、H&A モルデンケは「植物学の権威はほとんど皆」が月桂樹だと考えていると述べる。「野生の木」と訳されているヘブライ語は「土地の人」を意味するからか、文語訳では「生い立ちたる地にさかえしげれる樹」となっている。

西洋文明において勝利の栄光、不滅の名声といった称賛をあらわす樹木を否定的な直喩として解釈するのは釈然としないが、月桂樹もイスラエルの土地で勢いよく生長する。神に逆らう悪しき者がたとえ栄えても、それはしばしの間であって、必ず滅びる。このメッセージは月桂樹がたとえ栄光をうたっても樹木としては寿命が尽きて枯れる、ということであらわされる。英訳聖書では「月桂樹」としているのは欽定訳をはじめESVなどいくつもあり、「レバノン杉」を採用しているNRSVは原文のヘブライ語では不明と注を付けている。

彼は林の中で力を尽くし
 樅を切り、柏や榿の木を選び
 また、樅の木を植え、雨が育てるのを待つ。

(イザヤ書 44 : 14)

イザヤ書のこの引用句に出る樹木名は混乱しているようである。「糸杉」「レバノン杉」などと訳されたりするが、新共同訳が「樅」としている語（ヘブライ語で oren）を M. ゴハリーがアラム語やアラビア語の表記なども援用する言語学的な「月桂樹」論は説得的である。新国際聖書注釈も「月桂樹」としている。引用句に出ているいくつかの樹木は薪にして体を温めたり肉をあぶったりして、残りの木で偶像を造り拝み祈った。そのような木の切れ端でできた偶像がいかに無力であるか、偶像崇拜を皮肉り嘲笑している。

朽ちる冠 or 朽ちない冠

競技をする人は皆、すべてを節制します。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするのですが、わたしたちは、朽ちない冠を得るために節制するのです。(1 コリント 1:25)

この「朽ちる冠」は、多くの聖書注解者が述べるように、月桂樹の冠のことであろう。ここでは不朽の名誉をあらわす象徴を実体としての月桂樹とわざと混同して用いている。イギリス 17 世紀の詩人 A. マーヴェルが「いかに空しく人びとはあがくことか / ナツメヤシや月桂樹を得ようとして」（「庭」）と詠んだ手法である。月桂冠はシンボルとして朽ちない栄誉をあらわすが、植物としての月桂樹は朽ちる。スポーツの選手たちは地上的栄誉（それは朽ちる）を獲得するために節制するが、福音を告げ知らせる使徒が行う節制とは人生そのものを捧げることにある。「朽ちない冠」すなわち永遠の命はこのようにして得ることができる、と筆者パウロは説いている。

また、競技に参加する者は、規則に従って競技をしないならば、栄冠を受けることができません。(2 テモテへの手紙 2:5)

「2 テモテへの手紙」で語られる「栄冠」も月桂樹の栄冠を指すのであろう。アスリートたちが規則に従って励むように、教会のため



に働く牧師は、自己を律して復活の福音を説き、避けられない労苦を耐え忍んで尽くさなければならぬ。福音宣教者がその仕事に励み勤めを果たして与えられる「義の栄冠」(同 4:8) は天上の月桂冠、すなわち、永遠の命である。

そうすれば、大牧者がお見えになるとき、あなたがたはしほむことのない栄冠を受けることになります。(1 ペトロの手紙 5:4)

初代教会では長老は会衆の霊的指導者であった。長老たちにたいして勧める手紙にも月桂冠と対比される栄冠が言及される。「神の羊の群れを牧」する長老たちは、権威を振りまわすのではなく「群れの模範」になることに献身せよ、と説く。この手紙の「しほむことのない栄冠」もしほむ栄冠、すなわち月桂樹の栄冠の存在が背景にある。もっとも、物理的にはしほむ月桂樹も、象徴としてはしほむことはない。月桂樹の常緑性が月桂冠のあらわす栄光の永続性をも象徴する。

大詩人に与える栄誉の称号は桂冠詩人 (Poet Laureate) として知られる。勝利と栄誉のシンボルとなったこの木の常緑性が不滅の名声をあらわすが、葉には刺激性があって詩的靈感をも関連され、また、この木が詩の神でもあるアポロの木ともなった神話も背景にある。イギリスでは終身任命の王室付きの名誉ある詩人の称号になっている。詩人の中の詩人たるシェイクスピアにも、月桂樹をもって詩人の栄誉をたたえる表現は見当たらない。

「SCA 新入生歓迎会」

社会学部 社会福祉学科 花澤 広介



私たち SCA サークルは、今年の新入部員の入部を祝い、「新入生歓迎会」を行いました。場所は某所の和食レストラン。メンバーたちとしゃぶしゃぶの食べ放題をいただきながら、和気あいあいの雰囲気の中で楽しく過ごすことができました。当然、クリスチャンサークルですから、新入生歓迎会は神様への食前感謝のお祈りで始まります。しかしながら、実際にはキリスト教徒ではないサークルメンバーの方が多いのです。SCA は桃学大の唯一のキリスト教サークルですが、キリスト教徒であろうがなかろうが、サークルに入るのには何も制約はありません。本学の建学の精神である「自由と愛」を追い求める団体なのです。ただ、単なる「自由や愛」というわけではなく、

イエス・キリストの教えるキリスト教精神でなくてはなりません。そのような桃学大の伝統的考えや教えを受け継いでいくためサークルなのです。現在は、大学祭の模擬店を行うために皆が集まって、その準備をしています。今年は「スマート・ボール」を出店する計画で、私たちの手製のスマート・ボール台を作成して来学される方々に、楽しんでもらおうと考えています。問題は、スマート・ボールとキリスト教をどういう風につなげれば良いのかといったところでしょうか？ スマート・ボール台を作りながら、そのことについて話し合っています。また、桃祭のために合宿も行いました。皆で楽しく大学生活の良い思い出になるように頑張りたいと願っております。

今回の新入生歓迎会はとても楽しい一時でしたが、このような会が行えるのも、実はSCAのOB・OGの方々のカンパがあったからで、先輩方に心から感謝しています。SCAの問題点は、多分どこのサークルもそうだと思いますが、活動費の不足です。アルバイトをいっぱいすれば良いのですが、そうすると学業がおろそかになりますし、SCAにも参加できなくなります。だからと言ってアルバイトを適当にやれば、すぐにくびになってしまいます。

学生という社会的弱者の集うサークルは、もしかすると色々な方々の支援によってしか成り立たないのかもしれませんが、SCAを次の世代にもつなげていきたいと願う一方、つなげて行く難しさにも直面しているのが現状です。

色々書きましたが、新入生の入会に感謝感激！SCAに引き続き、神様の祝福がありますように、お祈りしています。

桃学大SCA（学生キリスト者会）へのお誘いとお願い

桃学大SCAは本学で唯一のキリスト教サークルで、大学創設から存在するという伝統があります。ただ、キリスト教サークルといっても、キリスト教徒でなくても入会できます。というよりも、キリスト教徒の方がレア者です。ミッション系大学ならではの様々なプログラムを知ってみたい人や活動してみたい人にとって、その足がかりとなるサークルだと思います。

さて、SCAでは、バイブル・キャンプへの支援やACUCA（アジアキリスト教大学連盟）、CUAC（聖公会大学連盟）のStudent Campへの参加奨励に加え、様々な活動を予定しています。クリスチャンであってもなくても大丈夫ですので、大学時代の4年間に色々な活動を本学の建学の精神を基盤にしつつ、一緒にやってみましょう！SCA加入希望者は、チャプレンまでお申し出ください。チャプレン室はキリスト教センター内にあります。また、活動のための募金も受け付けていますので、下記の口座をご参照ください。

三菱東京UFJ銀行（普通）店番458、口座番号0099601
桃山学院大学SCAサークル 代表 平井光基

＜キリスト教センター関連等諸行事＞（2013年4月～2013年12月）

学期中 月 ・ 金 …… 朝の礼拝 8：50～ 昼の礼拝 12：40～
 火 …… バイブル・ランチ 12：40～
 前期月・木 …… 国際ワークキャンプ事前研修
 随 時 …… チャペルにおける建学の精神講和

- 4月 1日 教職員役職者就任・新任教職員歓迎 祝福式
 2日 2013年新入生歓迎記念礼拝・入学式
 5日 春学期始業礼拝
 10日 人権委員会 キリスト教センター運営委員会
 13日 フレッシュャーズキャンプ結団式
 15日 大学創立記念日式典
 20日 第111回チャペル・コンサート
 25日 国際ワークキャンプ実行委員会
- 5月 5日 桃山学院大学・立教大学アメリカンフットボール部定期戦及び合同礼拝
 9日 インド異文化ボランティア体験セミナー解団式・感謝礼拝
 17日 新入生聖歌隊員任命・祝福礼拝
 18日 六校交歓会（桃山学院・プール学院・神戸国際・神戸松蔭・京都平安・柳城学院）
 29日 キリスト教センター運営委員会
- 6月 1日 桃山学院墓地礼拝（於：服部緑地公園墓地）
 4日 春期日本語プログラム始業礼拝
 5日 第113回チャペルコンサート
 7日 前期キリスト教講演会（講師：タージン）
- 7月 2日 チャペル見学（ペトラキリスト教大学学長）
 4日・5日 アクーカ日本会議（於：桜美林大学）
 5日 チャペル見学（登美丘高校PTA）
 6日 神戸松蔭大学・本学ラクロス部定期戦開会式典
 8日 インターンシップ壮行礼拝
 夏期日本語プログラム & ツーリズムプログラム始業礼拝語
 10日 派遣留学生壮行礼拝
 12～14日 全国チャプレン会（於：広島女学院大学）
 18日 第27回国際ワークキャンプ・インドネシア結団式・及びユニフォーム祝福・授与式

- 19日 チャペル見学（伯太高校）
- 22日 春学期終業礼拝 チャペル見学（緑風冠高等学校）
- 24日 人権問題委員会 キリスト教センター運営委員会
- 26日 夏期日本語プログラム修了礼拝
- 8月 1日 交換留学生修了礼拝
- 6～7日 第27回国際ワークキャンプ研修合宿
- 10日 女子バレーボール部創部20周年記念式典
- 9月 17日 学長就任式
- 20日 宗教活動協議会
- 21日 ラグビー部ユニフォーム祝福式・リーグ戦感謝・激励礼拝
- 24日 ライブラリースタッフ創設記念礼拝 秋学期交換留学生始業礼拝
- 27日 秋学期始業礼拝
- 28日 2013年9月度卒業記念礼拝 卒業証書・学位記授与式
- 10月 3日 チャペル見学（北池田小学校）
- 9日 チャペル見学（国府小学校） キリスト教センター運営委員会
- 12日 教育講演会全国支部長会議
- 16日 チャペル見学（柘植小学校）
- 22日 チャペル見学（横山小学校）
- 25日 後期キリスト教講演会（土屋 博氏） チャペル見学（光明台北小学校）
- 28日 学生表彰式
- 11月1～3日 アクーカ会議（於：台北、輔仁大学）
- 6日 第114回チャペル・コンサート（森繁昇）
- 29日 聖アンデレ日礼拝 クリスマス・イルミネーション点灯式
- 30日 桃山学院逝去者記念礼拝
- 12月 2日 第27回国際ワークキャンプ報告会・解団式・懇親会
- 5日 チャペル見学（黒鳥小学校）
- 7日 クリスマス・コンサート（第115回チャペル・コンサート）
- 11日 アンサンブルベルリン・コンサート
- 12日 桃山学院大学クリスマス礼拝
- 20日 第40回オルガン講習生発表会
- 22日 ボランティア発表会 オープンカレッジ・クリスマス礼拝

キリスト教センターからのお知らせ



バイブル・ランチに参加しよう！

学期中の毎週火曜日、お昼休み（12：40～13：00）にバイブル・ランチを開いています。昼食を食べながら、聖書やキリスト教のお話をします。メインスピーカーは大学チャプレンですが、ゲストスピーカーがお話することもあります。友人を誘って参加してください。場所は、キリスト教センター集会室です。お菓子や飲物もあります！



チャペルの行事に参加してみよう！

チャペルでは、年二回のキリスト教講演会と年5回のチャペル・コンサートを開催しています。講演会もコンサートも著名な方を招いていますので、参加しなければもったいない！感情の豊かな若い学生時代に、たくさんの素晴らしいお話しや心温まるような音楽など、いろいろなものを吸収しましょう。



チャペルに来よう！

チャペルでは学期中の毎週、月曜日と金曜日に礼拝を行っています。朝の礼拝は8時50分から55分まで、昼の礼拝は12時40分から10分ほどです。（行事やチャプレンの都合などで中止されることもあります）



チャペルは誰でも大歓迎！

チャペルは、夏は冷房、冬は暖房の効いた心地良いスペースです。休憩や授業の合間など、静かに心を整えるのに最適な場所であるといえるでしょう。チャペルは皆さんのお越しを歓迎します。ただ、雑談・喫煙・飲食は御法度なので、ご注意ください。（ペットボトルの飲水もだめです）



キリスト教センター集会室は利用可能です！

チャペルに隣接しているセンター集会室は、予約すれば使用できます。各種セミナーやゼミの集まり、サークルの活動やパーティーなどに利用できます。飲食可です。

† 聖公会とは †

本学の建学の精神は、「キリスト教精神」（自由と愛の精神）です。キリスト教の教派としては英国教会に属しており、日本での教派名は聖公会です。聖公会は、英国宗教改革から始まり、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界中の国々に広がり、信徒数7千万人を超えています。このような世界的な組織の中で、日本聖公会は重要な位置を占めています。日本においては約350の教会、約5万人の信徒を擁し、キリスト教の宣教活動に加え、さまざまな教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っています。

本学の姉妹校としては、立教、立教女学院、聖路加看護、名古屋柳城、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、神戸国際などがあります。聖路加国際病院、聖バルナバ病院もよく知られています。桃山学院大学は、世界に広がる国際的なネットワークの中で、その一員として、「キリスト教精神」（自由と愛の精神）に基づき、「世界市民の育成」をめざして努力しているのです。

◇ 編集後記 ◇

「SEQUIMINI ME」第45号ができあがり、ご寄稿いただいた方々に心から感謝いたします。また、このチャペル・ニュースを通して、チャペルへの興味を持っていただければと願っております。

(チャプレン 司祭 ヤコブ 松平 功)

「SEQUIMINI ME」桃山学院大学チャペル・ニュース第45号

2013年12月発行

発行所 桃山学院大学キリスト教センター

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号

TEL 0725-54-3131

発行日：2013年12月1日



キリスト教センター 新スタッフのご紹介



朝倉康仁氏（写真右：あさくら やすひと） 本年5月1日付で、庶務課キリスト教センター事務局に異動してまいりました。キリスト教センターに配属される前は、教務課に5年、そして国際センターに5年所属しておりました。これまでの経験を生かし、学生の皆さんのニーズに沿ったアドバイスができるよう努めてまいります。また学生の皆さんだけでなく、教職員の方々の心のオアシスとしてキリスト教センターが用いられますように努力してまいりたいと思っております。

小泉久美氏（写真左：こいずみ ひさみ） 本年4月1日付で、スポーツオフィスから異動してまいりました。キリスト教センターの働きについては、まだまだ分からないことばかりですが、こつこつと精進してまいりたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いたします。

桃山学院大学キリスト教センター

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号

TEL 0725-54-3131

FAX 0725-54-3210